

収穫期間が長くウイルス抵抗性を持つ

枝豆『京夏ずきん』新品種を育成

生物資源研究センター

問い合わせ先:生物資源研究センター応用研究部 0774-93-3527

- 長期収穫が可能で、SMV抵抗性を持つブランド枝豆『京夏ずきん』

新品種「E17-10」を育成しました。

- 令和5年に品種登録出願予定です。



図 莢の比較
(左:新品種、右:現品種)

主な成果

- 現品種「夏どり丹波黒2号」と比べて約5日間収穫期間が延長。

- 現品種と比べて7%多収。

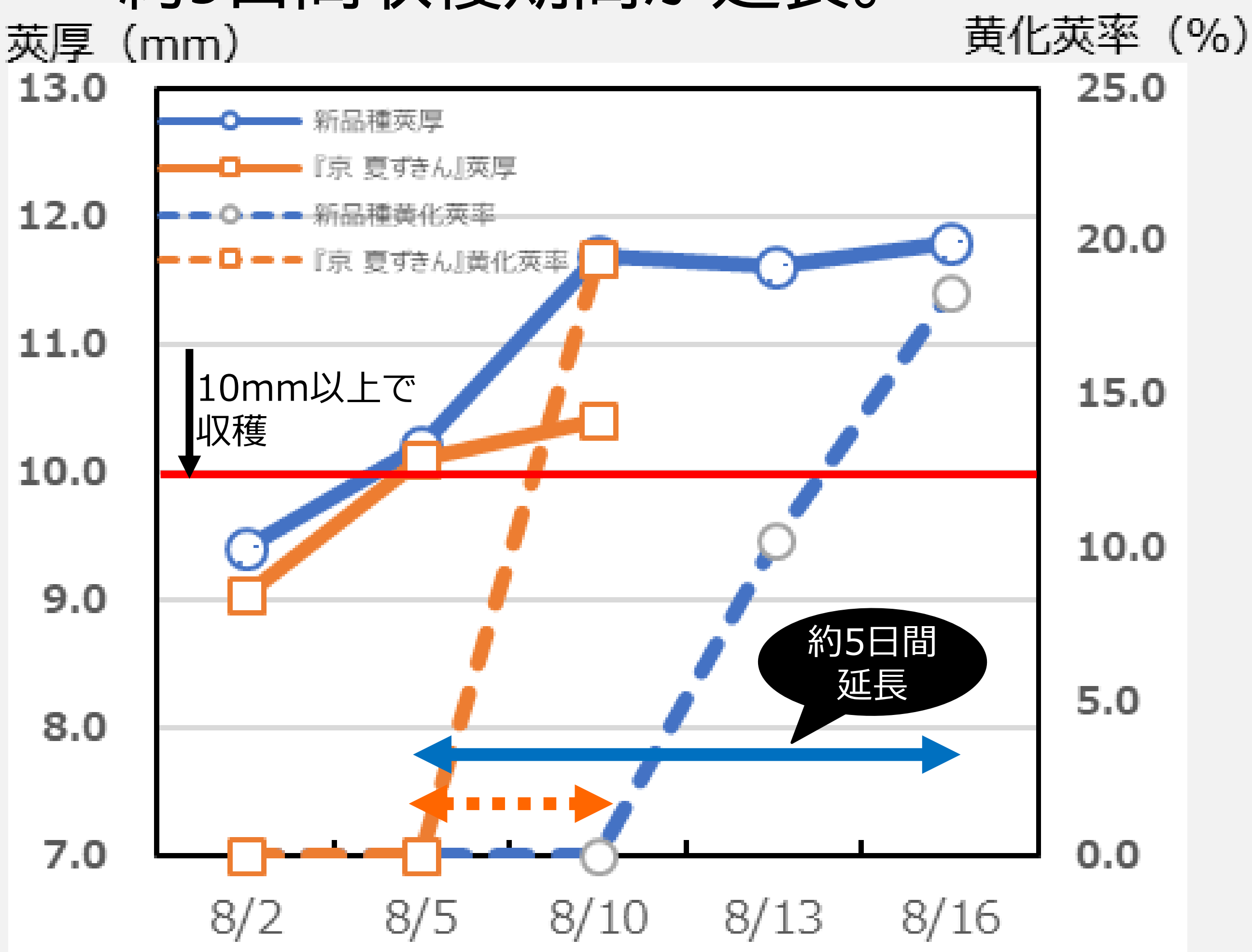


図 新品種の収穫期(令和3年調査)
(実線両矢印:新品種、点線両矢印:現品種)

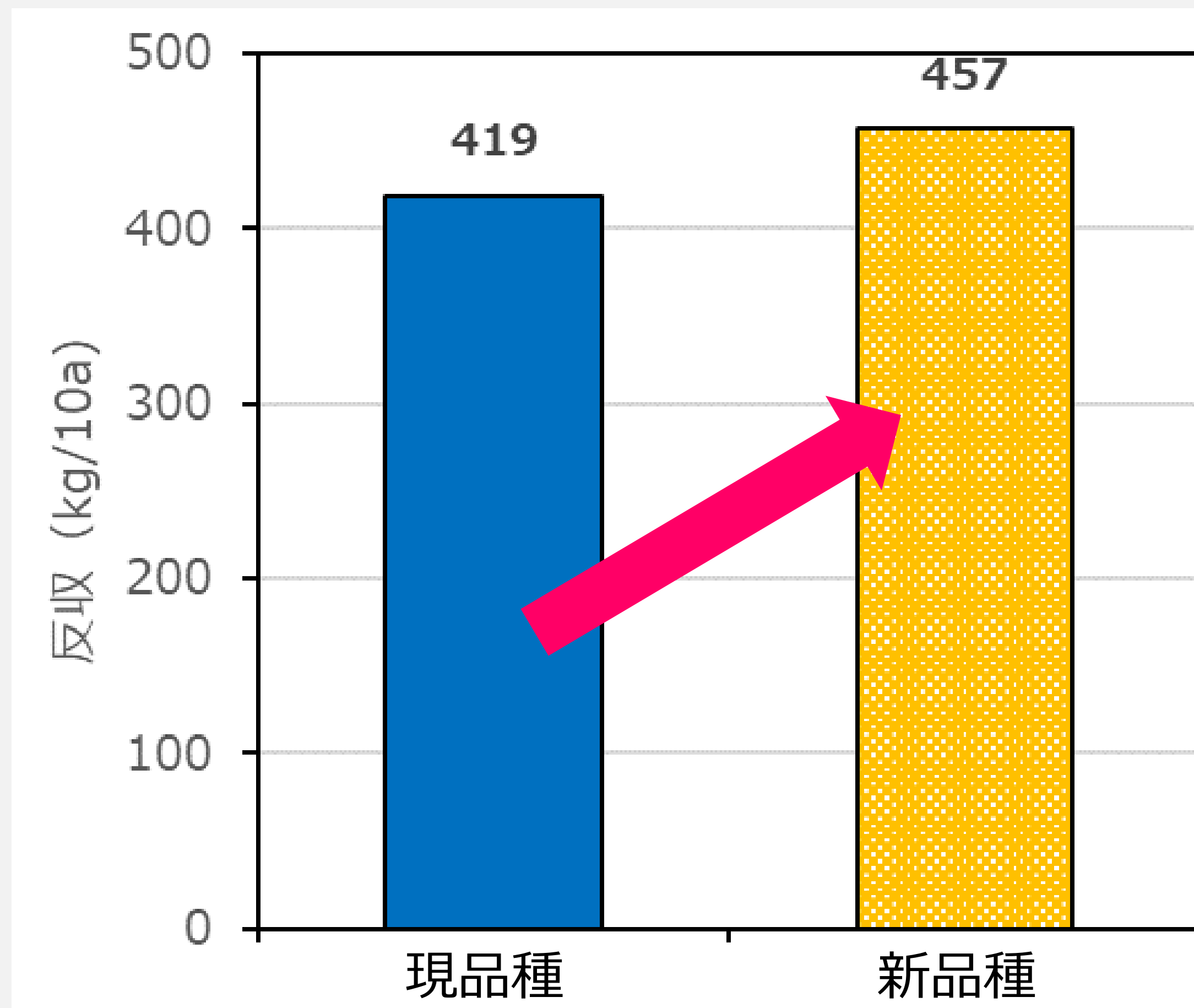


図 現品種と新品種の収量比較
(令和2年と3年の平均から算出)

- ダイズモザイクウイルス(SMV)抵抗性を付与。

- 現品種と比べて食味が向上。



図 新品種のSMV抵抗性(令和4年調査)
(現品種(左)は葉が退緑するが、新品種(右)は退緑しない)

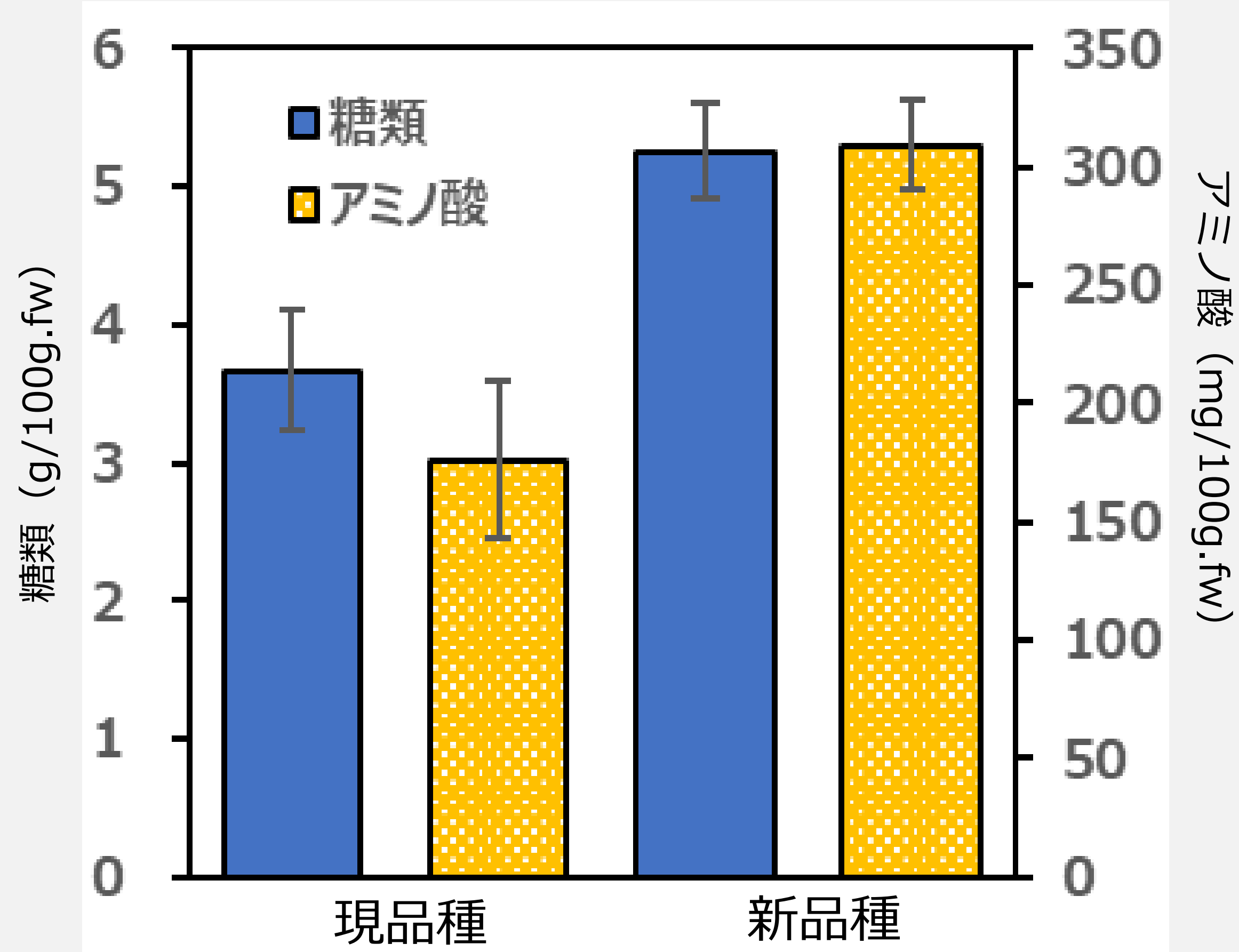


図 現品種と新品種の糖類・アミノ酸含量 (令和3年調査)

期待される波及効果

- 現品種と比べ、収量が7%増加し、収穫期間が5日間延長する。
- 品種切替により、『京夏ずきん』の品質向上および価格向上が期待できる。